

各位

第71回 全国学校新聞指導者研修会 要項**メインテーマ「学校新聞で育てよう～SNS時代を生きる力～」**

主催：(公社)全国高等学校文化連盟正会員団体 高等学校文化連盟全国新聞専門部
全国高等学校新聞教育研究会

後援：文部科学省・(一社)日本新聞協会・東京都教育委員会・東京新聞(中日新聞東京本社)・
東京都NIE推進協議会(予定)

15～18歳の「LINE」利用率は94%※、「Twitter」利用率は81%※に上り、ティーンエイジャーの間では、SNSを用いたコミュニケーションが当たり前の世の中になりました。

「新聞」というメディアは、「検索の素早さ」「即時性」という点では、SNSの後塵を拝してしまっています。しかし、社会問題に対してさまざまな意見を掲載し、読者に考えてもらう材料を示すという「一覧性」は、「新聞」の得意とするところです。

インターネット上での情報検索の特徴として、「自分の知りたい情報だけを探して、他の情報(自分の意見と合わない声など)」は見えてこない傾向、いうならば「興味・関心のたこつぼ化」が挙げられます。その代わり「新聞」は、自分が今まで触れることのなかった情報にも触れる機会があり、自らの考えを深めることが期待できます。予測不能な世の中を生きる上では「検索力」だけではなく、自分が知らなかった意見や情報にも触れ考える「多角的視野」も必要になるのではないのでしょうか。

学校新聞を通じて、SNS時代にも通用するコミュニケーション力(他者の意見を取り入れ、自分の意見を伝える力)を高め、生きる力・社会性をどう育てたらよいか、本研修会がそれを考える機会となることを願ってやみません。

なお、昨今の事情に鑑み、また、より多くの方にご参加いただきたく、今回から、会場での開催とともに「Zoom」によるオンライン配信での参加(視聴)も行うことといたしました。今まで研修会に参加されなかった方も、この機会に是非ご参加ください。

※出典：株式会社マクロミル・認定NPO法人カタリバ協働調査 2018年思春期の実態把握調査

1. 目的：高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、次年度の全国高等学校総合文化祭の開催地でのプレ大会として開催する。

2. 参加者・定員：

学校新聞を指導する高等学校の教職員および新聞教育に関心を持つ教職員・関係者70人程度

3. 日時：2021(令和3)年10月9日(土) 11:40～10月10日(日) 12:00

4. 会場：三輪田学園中学校・高等学校 小講堂

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-3-15

TEL：03-3263-7801 FAX：03-3239-8270

(市ヶ谷駅から徒歩6～7分・飯田橋駅から徒歩8～10分・九段下駅から徒歩15分)

5. 「交流懇親会」については、昨今の事情に鑑み、開催いたしません。

6. 申込方法：

(1)「会場(三輪田学園高校)での参加」を希望される方

申込用紙に必要事項をご記入の上、全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター・岡田聡史(群馬県立富岡高等学校定時制)宛、お申込みください。あわせて、下記の口座に参加費も送金してください。なお、振込手数料は、本人負担でお願いします。

参加費：(会場での参加の場合) 4,000円

【送金先】みずほ銀行 東京営業部(001) 口座番号(普通) 1003540

加入者名 全国高等学校新聞教育研究会

申込締切：9月17日(金) 必着

(2)「オンライン (Zoom) での参加 (視聴)」を希望される方

申込用紙に必要事項をご記入の上、全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター・岡田聡史（群馬県立富岡高等学校定時制）宛、お申込みください。オンライン配信担当より、メールにて別途ご連絡差し上げますので、メールアドレスは必ず記載してください。

参加費：（オンラインでの視聴の場合）2日間通しての参加 1,500円
1日のみの参加 1,000円

*支払い方法については、オンライン配信担当よりお知らせいたします。

申込締切：9月30日（木）必着

7. 宿 泊：各自でご予約ください。会場周辺には、いろいろな宿泊施設があります。

8. クリニック紙の募集：

高校新聞クリニックを希望される方は、参加申込書にその旨をご記入ください。申込結果・クリニック紙の送付先など、詳細は申込者ご本人に、直接ご連絡いたします。

9. 交換紙コーナーの設置：

各高校の新聞を交換する場所を設けます。70部お持ちください。単一号で部数が揃わない場合は複数号でそろえて頂いても構いません。

10. 問い合わせ先：

今回の研修会参加に際し、所属長あての文書が必要な場合は、下記担当までご連絡ください。

【担当】高等学校文化連盟全国新聞専門部 学校新聞指導者研修センター センター長

岡田 聡史（群馬県立富岡高等学校 定時制 教諭）

〒370-2343 群馬県富岡市七日市 1425-1 TEL：0274-63-0053 FAX：0274-62-2745

E-mail：sato-okada@edu-g.gsn.ed.jp

（定時制勤務のため、電話でのお問い合わせは午後2時以降にお願いします）

11. 日 程：

（敬称略）

▽全体司会：全国高等学校新聞教育研究会 事務局長 毛利 淳夫

<（★）印はZoomによるオンライン配信を予定 >

< 2021年10月9日（土） >

11:40～12:00 受付

12:00～12:10 開会あいさつ（★）

▽高等学校文化連盟全国新聞専門部 事務局長（三重県立相可高校教諭） 富安 道伸

▽全国高等学校新聞教育研究会 会 長 松井 孝二

▽東京都高等学校文化連盟新聞部門 部 会 長（都立王子総合高校校長） 仁井田孝春

12:10～13:10 記念講演（★）「コロナ禍での政治 ～民主主義とメディア～」

▽講 師 東京新聞 編集局社会部 記者 望月衣塑子

13:20～15:10 実践報告（★）

（1）13:20～14:10 「昭和第一学園高校新聞部の活動（仮）」

（★）▽発表者 東京・昭和第一学園高校 教諭 小林 繭子

（2）14:20～15:10 「すべては出会いから・・・新聞部生活40年の軌跡」

（★）▽発表者 石川・県立金沢泉丘高校 教諭 谷口 豊

15:20～16:00 グループ討議

グループ1 記念講演講師を囲んで / グループ2 実践報告1報告者を囲んで

グループ3 実践報告2報告者を囲んで / グループ4 顧問としての悩み

16:10～16:50 高校新聞クリニック

▽講師 神奈川・県立横須賀高校 教諭 中根 淳一

17:00～18:00 全国高等学校新聞教育研究会 理事会・総会（会員対象）

< 2021年10月10日（日） >

9:00～10:00 技術講座「調査報道のテーマ設定と進め方」（★）

▽講師：東京新聞 編集局社会部 部長 杉谷 剛

10:10～11:40 研究分科会

●第1分科会「初心者のための新聞制作」（★）

▽講師：富山・県立高岡南高校 教諭 得地 聡

●第2分科会「テーマ『学校新聞で育てよう～SNS時代を生きる力～』をめぐって」

▽世話人：神奈川・全高新 副会長 牧野 修三

▽司会：広島・崇徳高校 教諭 花岡 健吾

●第3分科会 学校新聞とNIE 「PEST分析における新聞の活用」

▽報告者：東京・都立芝商業高校 教諭 林 敏昭

▽世話人：神奈川・県立横須賀高校 教諭 中根 淳一

▽世話人：神奈川・県立高浜高校定時制 教諭 木南 景子

11:45～11:55 地元報告

▽報告者：東京・三輪田学園中学高校 教諭 寺見 忍

11:55～12:00 全体のまとめ

▽全国高等学校新聞教育研究会 事務局長 毛利 淳夫

12. その他

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止する場合があります。その際は、参加を希望されるみなさんに別途ご連絡差し上げます。

申込締切：9月17日（金）【会場参加】

9月30日（木）【オンライン視聴】 必着

群馬県立富岡高等学校 定時制 岡田聡史あて

FAX：0274-62-2745 / E-mail：sato-okada@edu-g.gsn.ed.jp

第71回 全国学校新聞指導者研修会 参加申込書

※2人以上で参加される場合は、お手数ですがこの申込書をコピーして一人ずつお申込みください。

ふりがな
所属名

ふりがな
お名前

(○で囲んでください)

校長・教頭・教諭・その他 ()

担当教科 顧問歴 2年未満 2～5年 5～10年 10～15年 15年以上

(○で囲んでください)

所属住所 (〒 -)

電話 () FAX ()

E-mail

当日の緊急連絡先 携帯電話

携帯 E-mail

(悪天候で開催が危ぶまれるなどの緊急時の連絡先として使用します)

○参加形態 (1) 会場での参加 (2) オンラインでの視聴 (いずれかを○で囲んでください)

*「(1) 会場での参加」を希望される方は、以下の◎印にご回答ください。

◎高校新聞クリニック 希望する 希望しない (いずれかを○で囲んでください)

◎グループ討議で話し合いたいテーマ

今年は記念講演者・実践発表者を囲んでの話し合いと顧問の悩みに答えるグループに分かれて行う予定です。下記のテーマから希望されるものを○で囲んでください。

A. 望月衣塑子氏の講演を聞いて B. 実践発表(1) 小林繭子先生の実践をめぐって

C. 実践発表(2) 谷口 豊先生の実践をめぐって D. 顧問の悩みに答える

◎分科会 第1分科会 第2分科会 第3分科会 (希望される分科会を○で囲んでください)

※ 第2分科会はテーマ「学校新聞で育てよう～SNS時代を生きる力～」をめぐって配付資料をもとに意見交換をします。

○ 顧問教師として日頃のお考えやご意見・悩みなどがありましたらご記入ください。あるいは、貴校新聞について簡単にご紹介ください。

○ その他、資料・縮刷版などの販売希望、連絡事項がありましたらご記入ください。